

平成22年度第5回 公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成22年9月24日（金）午前10時00分～11時05分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長 古賀 実  
副学長 半藤 英明  
事務局長 益田 和弘  
環境共生学部長 有菌 幸司  
総合管理学部長 三浦 章  
学術情報メディアセンター長 津曲 隆  
アドミニストレーション研究科長 黄 在南  
熊本県公立高等学校長会会長 眞開 純洋  
前熊本近代文学館館長 河原畑 廣  
学校法人昭和女子大学理事 渡辺 満利子

欠席：文学部長 山田 俊  
地域連携センター長 篠原 亮太

オブザーバー：環境共生学研究科長 堤 裕昭

事務局：三角事務局次長、林田教務入試課長、馬場総務課長、高橋学生支援課長、阪本企画調整室長、田中学術情報メディアセンター事務長、林企画調整室主幹、教務入試課木村教務班長、同課安達入試班長、同課澤田参事

1 開会（進行：三角次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成23年度入学者選抜における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「大学院環境共生学研究科博士前期課程の秋季募集については、試験を9月11日土曜日に実施した。募集人員20名に対して15名の志願。内訳は、一般選抜が14名、社会人選抜が1名。一般選抜のうち12名が本学出身者である。」との説明があり、続けて堤環境共生学研究科長から、資料1-2に基づき、「一般選抜では14名が志願し、合格基準では1科目でも科目ごとの得点が30%以下の科目があれば不合格、また、概ね総点の6割を超えている者を合格することとしており、基準に相当する10名を合格としたい。社会人特別選抜については1名が

志願し、合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 平成22年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、平成22年度非常勤講師の採用について資料2に基づき説明があった。「3年生後期科目「栄養情報管理学」に、新たに1名非常勤講師の採用をする必要が生じたため、御審議いただくもの。この科目は複数教員のオムニバス講義で15コマ中、6コマを担当していただく。採用日は平成22年10月1日を予定している。」

審議の結果、案のとおり承認した。

## (2) 報告事項

### ① 平成21年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価について

事務局企画調整室から、平成21年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価について資料3に基づき、次の説明があった。「県の評価委員会から、8月27日付けで評価結果について通知があったのでご報告するもの。法人の評価は、全体評価と項目別評価とに分かれている。全体評価は中期計画の進捗状況の全体についての総合的な評価。大学運営4年目で、成熟度を増し着実な進歩を遂げた1年だったと評価された。平成22年度入試の志願者数が開学以来最高であったこと、文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の設置や、キャリアセンターの開設が評価された。研究面では、徳富蘆花研究など地域貢献に多くの教員が政策形成過程に参画したこと、授業公開講座や、包括協定が高く評価され、地域貢献全国ランキング日本一となったこと、学生支援については、新たな奨学金制度や、県内生活保護世帯を要件とする選抜制度を創設したことが評価された。財務内容改善については、未来基金の創設などを行い、改善が着実に進んだと評価された。項目別評価は、A評価が45項目、B評価が10項目、C評価が1項目。C評価は、科学研究費等補助金で、全教員が応募するという計画に対して、応募率は80%と飛躍したが、計画は全員だったということで、C評価となった。平成21年度取組については、年度計画を着実に進めていると認められた。ただし、平成23年度末までに中期計画を達成するという観点から見たときに、任期制の准教授以下への導入や、管理栄養士の合格率90%以上に向けた取組み等について、更なる取組の強化が必要とされた。」

### ② 平成22年度オープンキャンパス、高大連携”SUMMER COLLEGE”の参加者アンケート結果について

事務局教務入試課から、平成22年度オープンキャンパス、高大連携”SUMMER COLLEGE”の参加者アンケート結果について、資料4に基づき説明があった。「7月25日に文学部と環境共生学部、8月1日に総合管理学部において実施した。オープンキャンパスとサマーカレッジの二本立て。参加者は、昨年度、開学以来最高の2700名だ

ったが、今年度も同数の参加があった。サマーカレッジについても昨年度 1500 名で最高だったが、今年度は更に増えて、1876 名が参加した。そのなかで 749 名がアンケートに協力いただいた。回答者の内訳は、1 年生 26%、2 年生 39%、3 年生 35%で、2 年生が一番高い割合になっている。参加者数と回答者数の比率では、アンケートは 3 年生が最も多く回答している。オープンキャンパスに参加した動機として一番多かったのは、「この大学を進学先の候補のひとつと考えていたから」。3 年生では「熊本県立大学を受験したいから」が一番多かった。最も参考になった催しは、「在学生による説明や相談」であった。サマーカレッジに参加した動機では、「AO入試を受験しようと思っている」というのが 3 年生に多かった。昨年度からの伸び率をみると「推薦入試を受験しようと考えているから」が伸びていた。同日開催については、圧倒的に「参加しやすかった」という結果が出た。どのように知ったかは、いろいろな媒体を用いて周知しているが、「高校の先生から」というのが一番高い割合になっていた。」

③ 平成 22 年度の入試広報の実施状況について(4 月～8 月)について

事務局教務入試課から、平成 22 年度の入試広報の実施状況(4 月～8 月)について、資料 5 に基づき次の説明があった。「8 月までの入試広報について、出張講義 28 校、高校訪問 64 校、学内見学 13 校、オープンキャンパス、学部・学科説明会に 2,735 名、進学相談会 49 会場 1,055 名の参加があった。今後も少し増えてくるものと思われる。出張講義は昨年より増加、高校訪問も今後増加する見込み、進学相談会は、会場数は同じだが、相談者数は昨年より増加。次年度に向けた課題として、保護者に対するインパクトの強い「学内見学」、高校訪問の重点校化、オープンキャンパス時のシャトルバスの運行などがある。」

4 その他

次回日程、10 月 4 日(月) 午前 11 時～ 本部棟 2 階 大会議室

5 閉会